

IGER Seminar

創薬科学研究科・環境医学研究所とのJoint Seminar

Exosomal microRNAによる 癌悪性化機構の解明と診断・治療への応用

講師 落谷孝宏 博士

Takahiro Ochiya, Ph.D.

国立がん研究センター研究所

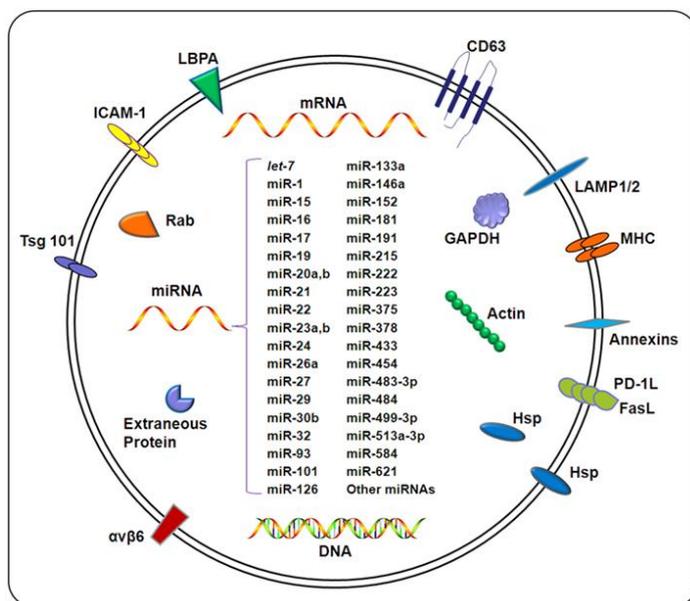
分子細胞治療研究分野 分野長



細胞外分泌顆粒であるエクソソームは、その内部にmicroRNAsを内包していることが発見された2007年以降、その生物学的意義を追求する研究が加速している。特にがん細胞が分泌するエクソソームは、がんの浸潤・転移はもとより、薬剤耐性等にも関与しうることが示されたことから、エクソソームを診断・治療に応用しようとする動きが世界中で活発化している。本発表では、こうしたエクソソーム研究の現状を概観するとともに、体液中のエクソソーム診断が、liquid biopsyに貢献しうる可能性について具体例を紹介する。

参考文献

- 1) Ono M, et al., Sci Signal, 2014
- 2) Yoshioka Y, et al., Nat Commun, 2014
- 3) Kosaka N, et al., J Biol Chem, 2013; 2012, 2010



博士課程教育
リーディング
プログラム
Program for
Leading
Graduate Schools

プラットフォーム システムバイオコース

- ◆日時 11月27日 (木) 16:30~18:00
- ◆場所 理学南館 1F セミナー室